

# 鵬 鷲

HOSAI



八代経済開発同友会

(通巻第118号)

http://www.goroyoka-yatsushiro.com  
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com

「鵬鷲」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬(おおとり)が飛ぶ(=はるかなかなたの)空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近づきたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



## 一年間を振り返り～今後への思い～

平成27年度 八代経済開発同友会

第51代 代表幹事 伊藤 輝 充

「点から線、そして面へのイノベーション」のスローガンのもと代表幹事として緊張感、不安の中にも充実した人生経験を与えて頂きました。会員の皆様にも心より感謝と御礼を申し上げます。

今年には新市誕生10周年を迎え、新庁舎建設も予定され、新しい市政が始まりつつあります。また、クルーズ船の寄航に端を発し貿易港発展に伴う八代港の整備も急がれる現状です。

特にクルーズ船の寄航にあたっては、まだまだ検討することが山ほどあるのが現状ではありますが、これを打開するのも同友会のこれからの仕事だと私は思っております。

また貿易港としての港、アクセス、倉庫の整備も八代にとっては重大視しなければなりません。

そして今年には八代妙見祭ユネスコ文化遺産登録の年で、同友会にとっても大事な年になると思います。官民一体となり「八代の宝から世界の宝へ」をスローガンに吉武実行委員長のリーダーシップのもと、会員一丸となり文化遺産登録を取っていただきたいと思っております。

今年度スポーツ事業では八代カップバドミントン大会が10周年を迎えましたが、八代東高校の権藤先生、白百合学園高校の井村先生、松岡実行委員長の御尽力により今後、八代天草架橋旗の冠が付き継続が決まりました。この先5年10年続くことを祈念いたします。

八代にはバドミントン以外のスポーツの試合合宿などたくさんしています。

これから先、次年度にも誘致活動にも力を入れていただきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

また2月25日から27日にかけて八代天草架橋民間期成会同友会メンバー9名で宮古島の伊良部大橋の視察へ行ってきました。現地の仲間先生に2時間ほど講演をいただき、完成まで40年かかったお話を聞いてまいりましたが、完成までの話をここに書いたら書ききれません。

結論から言うと国の予算を10万円でもいいからまず付けることが一番だということです。

まだ八代天草架橋は立案から23、24年しか経っていません。宮古島の伊良部大橋に較べたらまだまだです。今後とも引き続き頑張っていきたいと思います。

最後に「点から線、そして面へのイノベーション」のスローガンを立てましたが、なかなか面にするのは難しいものです。私としては一生懸命取り組んできたつもりです。

会員の皆さまには公私共に本当にお世話になりました。これからも一会員として精進してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。衷心より感謝申し上げます。1年間お付き合いありがとうございました。

## 次年度よろしく申し上げます

私は、次年度代表幹事を受けることになりました杉本隆之と申します。入会は、吉住元代表幹事に誘われて、平成22年にしました。そして、同友会50周年に神園代表の時に、副代表をさせて頂きました。50周年を迎えるにあたって、上部団体を持たない団体として、今後どうあるべきか？を真剣に話し合いをした2年間でした。第一回目の幹事会で、神園代表と50周年竹永実行委員長が八代経済開発同友会の解散をする覚悟での改革をされました。そこで提言された理念の構築でした。八代経済開発同友会の代表幹事としては、これまでの流れを止めてはいけません。さらに、強く押し進めていきます。

同友会にとっての理念の構築は、同友会の危機からの脱却でありました。強い危機意識がなくては、

## 次年度代表幹事 杉本 隆之

生まれなかったのです。同友会の危機というのは、存続の危機ということと、チャンスが含まれています。この危機を脱したら、チャンスが訪れるという意味です。この初心を忘れずに、所信に沿った三つの事業をしたいと思っております。一つは、八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録です。もう一つは、重点港湾八代港のクルーズ船を含めた振興です。最後に、この二つのチャンスを活かす施設としての八代市庁舎の建て替えです。ここに、同友会の英知を集めて、提言をしたいと思っております。八代経済開発同友会の代表幹事として、皆様と共に、歴史をつくっていきたいと思っております。ぜひとも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

お世話に  
なりました



## 一年間を振り返って

# 委員会報告

ありがとう  
ございました

活力ある地域づくり委員会 委員長 横林 宏志

### 近くて遠い「日奈久温泉」へのおせっかい

意見交換会を開き、皆さんからお話を聞きました。駐車場がわかりづらい、飲食の場所が少ない、旅館の立ち寄り湯が可能かどうか看板が出ていない? などなど…。

そこで、気づいたことを分別・ランク分けし、市外から来られた観光客の方々にやさしい温泉街にもどれるよう「おせっかい表」を作成してみました。日奈久の方からすれば重々承知のことかもしれませんがあくまでも「おせっかい」です。

- ・超大型宿泊施設の誘致
- ・海の見えるところで食事を
- ・イベントについてターゲットは見えているか
- ・J R A から巡回シャトルバスin日奈久
- ・食べ物地産地消にこだわらずおいしいものを
- ・温泉マップと温泉手形をJRAに（当たり馬券と交換）
- ・H N G 48 の創設
- ・料理店を日奈久マップに表示する
- ・フィリピンクラブ
- ・ラーメンスタジアムを模して食を一か所に
- ・買い物時に駐車場がわからない
- ・日奈久統一の看板の必要性
- ・立ち寄り湯の料金が不明瞭
- ・日奈久海鮮丼
- ・廃屋の整理と土地に関する減免措置
- ・家族風呂がいっぱいの旅館がほしい
- ・今田さん処ですぐ新鮮な魚料理が食べられるレストラン
- ・曙劇場の復活
- ・日奈久駅に旅館マップと道案内看板の設置
- ・足湯を多く
- ・桑原竹細工とラーメン桑庵の移転
- ・空き家について売りに出ているものはあるのか
- ・空き店舗、売り店舗の価格は?
- ・空き店舗・家をアーティストの館に
- ・スプリングフェスタで清掃不足
- ・日奈久温泉の情報発信を
- ・立ち寄り湯・食事・デザート類の案内掲示
- ・各通路に簡単なサインがあったらいい
- ・立ち寄り湯の明示してほしい
- ・移動販売店の設置・誘致
- ・物産品がもっとあっていいが
- ・毎月〇日はタイムスリップの日
- ・竹細工をきれいにディスプレイしたら
- ・シーフードレストランの設置
- ・目の前でとれたての魚をさばいて食べれる処
- ・玄関が暗い! 営業してるのかわからない
- ・屋台の設置・誘致（半屋外・内）
- ・二次会用和風浴衣ガールズバー
- ・街並みの統一した景観・歩いて楽しい街並み
- ・各旅館に提灯を下げる
- ・各旅館の特徴看板の設置
- ・昼食場所がほしい
- ・ラムネ・竹細工・味噌づくりの継承者の育成
- ・営業していない旅館をリニューアルしてくれる企業の誘致
- ・「立ち寄り湯OK」の表示があると外から来た人が分かり易い
- ・立ち寄り湯・駐車場の表示
- ・昭和レトロ風の屋台♡
- ・晩白柚を利用したデザート&お酒
- ・屋台を多く
- ・観光客の食事処が必要
- ・屋台通りを作る
- ・各店舗のお勧めメニューを作っては?
- ・レストラン・有名店の設置(アンテナショップ)
- ・タイムスリップした旅館の構成・人も合わせて
- ・幸ヶ丘をもっとアピールすればよい
- ・踏切の駅化・スマート駅
- ・駅と温泉が離れている
- ・国道が危険
- ・踏切駅にスマート昇降口
- ・案内板の設置
- ・ユニバーサルデザインの看板の設置
- ・週に二回位はセカンドバス・日奈久へ
- ・八代⇄日奈久シャトルバスの運行
- ・Wi-Fiは必須!
- ・50人単位の観光客の受け入れができる駐車場・食事処
- ・懐かしい日奈久朝市を夢倉庫で開催
- ・特産品をまとめて買える販売所がほしい

### 幸福感のある企業づくり委員会

委員長 村田 眞一郎

今年度の幸福感のある企業づくり委員会は以下の活動をいたしました。

3月の第1回委員会から計7回の委員会を開き、アンケート作成、集計、例会の企画を行ってきました。7月にアンケートを実施回収した後は、当初、会員への集計結果を報告するのみの予定でしたが、その後の委員会において、せっかくならそのアンケートをもとに会員同士で、グループ討議をしようということになり、10月例会で、アンケートの集計結果報告とそれをもとにグループごとに検討していただきました。

各班の報告は、多くは事前のアンケートの結果と同じ内容のものが報告されました。幸福感の実現は、社員の主体性がカギではありますが、その主体性を導きだすのは、経営者の理念を伝え続けること。また、社員が生き生きとやりがいを感じる風土を作り上げること。それができるのは、経営者しかいない。そして、幸福感のある企業の実現のためにできること一つ一つを、コツコツと積み上げていくしかない。グループ討議の中で、幸福感の捉え方において、立場や環境によって幸福感をどう捉えるか様々であるという事が出ました。その様々に捉えられる幸福感を一つ一つ真摯に向き合い具体的に実現していく事しか幸福感のある企業づくりを実現する事は出来ません。

委員会発足当初、「幸福感のある企業」とは、そもそも何かという疑問からアンケートを行い、様々な幸福感の実現の実態を明るみにして、より進化を促すように活動してきた1年でした。理念の勉強で得た、経営者はその理念を伝え続けなければならない。そして理念も進化する。と同じように、幸福感の実現も理念が成長するように、自分の理念に沿って幸福感の実現をするための努力をし続け成長進化しなければいけません。

その象徴として、アンケートに社員間のコミュニケーションの方法がいくつも出ました。理念、行動指針を中心としてのコミュニケーションの方法。また、経営者、リーダーがその人となりや伝えつつ、双方向のコミュニケーションを実現する方法。それぞれの問いに対して一つの正解が導き出せるというものではないですが、グループ討議の目的であるより深く理解し実践するための「気づき」があったと確信します。

また、今回の例会で会員の方々から、このように会員が実際に顔を突き合わせて、意見を交換するという機会が持てたということが有意義だったという意見も頂きました。つまり、生の声を聞き意見を交換することで、「気づき」に導けたということだと思います。

今年度の委員会活動が、点から線、そして面へとという点で、各会員がこれから実際にさらに人本主義経営を実践していく上での地盤を築く活動であった事を祈念します。今後、その地盤の上には、立体的に実践の成果が積み上がっていく事を信じます。

アンケートをまとめた資料は、10月例会時に配布いたしました。この度HPへ掲載していただきましたので、ご参照ください。

### 共に集い委員会

委員長 坂本文仁

あつという間に過ぎた一年間だったような気がします。伊藤代表より打診があり、「はい」というしかなかった委員長指名。

鋤馬把副代表幹事のフォローで濱委員長との二人三脚、あれよあれよという間に最後の例会。

「なにをしたっけ?」と思われる皆さんもいらっしやると思いますが、会員拡大約3名（目標には遠く及ばずですが、人物を優先した結果です）慶寿の会や経友会の企画（楽しんでいただけたでしょうか）懇親会の司会などやっておりました。

実は皆さんの顔と名前が一致しなかった委員長拜命当時、いろんな企画を通して、やっとメンバーの皆さんと一緒になれた気がしております。

一年間皆様にお世話になりっぱなしだったと思いますが、楽しい一年間を本当にありがとうございました。

また来年も あ〜〜〜  
よろしく願います。

### 共に学び委員会

委員長 濱 孝治

今年の共に学び委員会は主に5月・9月・2月・3月例会を運営いたしました。

5月例会では100%例会を達成する事が出来ました。これは、全会員の協力無しには実現できなかった事です。9月・2月例会では、クルーズ船の入港に伴う環境の変化を知る事やその変化に対応する事の重要性、そして八代港のこれからを学ぶ例会を開催しました。

3月例会では、伊藤代表幹事の最終例会であり、1年間の労をねぎらう意味でコース料理を味わう例会で1年間を締めくくりました。

1年間を通して例会開催までの動きが遅かったこともあり、皆さんにご迷惑をかけっぱなしだったのですが、何とか無事に終える事ができました。ありがとうございました。

### 情報発信委員会

委員長 平山 浩子

この一年のテーマとして掲げた“八代妙見祭2016ユネスコ無形文化遺産へ”の活動を、盛り上げる情報発信を！できたこと。できる限りいろんなイベントに参加して、その様子をホームページやFBにアップ、また、くま川祭りには、同友会としてユネスコアピールの電飾神輿を引いての参加をさせていただきました。私自身にとっても、初参加の機会と楽しい思い出をつくる事ができました。

さあ！今年はいよいよ2016ユネスコ無形文化遺産登録の年 多くの歓喜の渦のなかで その日を迎えましょう！まだまだ力不足で“やった〜!!”というには至りませんが、頼りない私を支えて下さった皆様、とりわけ最後の委員会にはお忙しい中、全員参加していただいた委員会の皆様本当にありがとうございました。ともかく、“終わりよければすべてよし”ですよね。



# 定期総会・例会報告

～地域づくりに貢献できる、強い組織づくりと、思いの共有化を～



八代経済開発同友会は、  
奉仕の志を持つ者が、  
共に集い、学び合い、  
幸福感のある企業と、  
活力ある地域づくりに貢献する。

## 7月例会

7月28日(火)19:00より、セレクトロイヤル八代にて開催されました。今回のテーマは、今注目の、クルーズ船八代港入港に関して、国際港湾振興課参事 道田和代様、八代商工会議所 木村幸之助様、イオン八代店店長 柴北善治様にて講演をいただきました。皆一同に興味あるテーマに会場も盛り上がり、熱い議論が交わされました。

この後の懇親会でも、このチャンスをいかに地元の経済に結びつけていくかという話で各テーブル、議論が続き、有意義な時間を過ごすことができました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## 9月例会

9月27日、午後5時より日奈久あたらしや旅館にて開催されました。

近くて遠い？日奈久での例会は、いろんな課題も山積してるのですが、徐々に懐かしい香りの中で、多くの意見、提案あふれるいい例会が、行われました。これからの同友会活動に、大いに反映していきたいと思えます。

当日は日奈久十五夜綱引き大会が行われていました。飛び入り参加で、童心に戻り、皆で楽しみました。



## 10月例会

10月20日(火)19:00～八代グランドホテルにて10月例会が、開催されました。

理念浸透のカギ例会と命名された例会は、グループ討議のスタイルで、5グループに分けられたテーブルで、「幸福感のある企業とは？その幸福感のある企業を実現するための取り組みは？」というテーマで、活発な意見交換が行われました。

後日、その内容については、会員の皆様に報告をさせていただきたいと思えます。



## 12月例会

12月26日(土)18:00より八代ホワイトパレスにて、12月度例会が開催されました。今回の例会では、衆議院議員の金子恭之氏による“八代港を取り巻く話題について”と題して、まさに、今の八代にとってとても興味深い話に、時間オーバーするほど、熱のこもった講演内容でした。会場からも質疑があり、地元経済に関する関心の高さが感じられる時間でした。

例会の後の忘年会では、先程の熱気を引きずりつつも、昼間のゴルフ大会の表彰など、なごやかな雰囲気のなか閉会を迎えました。

いよいよ来年は2016ユネスコ登録の年でもあります。皆で精一杯盛り上げて、その時を迎えたいものです。

来年が皆様にとって良き年となりますよう！  
今年一年、関わらせていただいた皆様方に心より感謝いたします。  
本当にありがとうございました。



## 平成27年度1月臨時総会及び八代商工会議所と合同新年会



平成28年1月7日(土)17:30よりセレクトロイヤル八代にて開催されました。新年の総会にふさわしく、多くの会員の出席のもと、代表幹事の挨拶に皆、思いを新たに2016年のスタートを感じた総会でした。

引き続き18:30より行われた、八代商工会議所様との合同新年祝賀会では、八代商工会議所の松木会頭の2016年における希望溢れる挨拶、また中村市長をはじめとする、多くの御来賓の方からの挨拶からも、2016年の八代が面白くなりそうな、そんな気配が十分に感じられる会でした。

こんな面白くなりそうな八代のため、みんなで力を合わせて頑張りましょう。きっと楽しい明日が待っていますよ。

## 平成28年3月例会

平成28年3月23日(火)19:00より、セレクトロイヤル八代にて3月度例会が開催されました。

今年度最後の例会は、丸テーブルを囲んでのスタイルで、伊藤代表はじめ、各委員長による今年度をふりかえっての1年間の報告等と共に、セレクトロイヤル八代 早田総料理長による、コース料理でのマナーと料理の説明を聞きながらのディナータイムは、伊藤代表の「伊藤丸の帰港を共に祝おう！」というテーマに沿った、今年度最後の例会にふさわしい例会となりました。



## 平成28年2月例会

平成28年2月23日(火)19:00より、八代グランドホテルにて平成27年度2月度例会が開催されました。

今回は「八代港のこれから」というテーマで、物流とポートセールスについて熊本県商工観光労働部 新産業振興局 企業立地課 ポートセールス推進室 室長 篠原英幸氏と主事 橋本博之氏による八代にとっても興味深い内容の講演がありました。

これからの八代のために、何ができるか、何をすべきなのかを自覚する有意義な時間となりました。

その後の、懇親会では講演での話の続編が各テーブルで繰り広げられ、盛り上がった懇親会で幕を閉じました。



## H27年度臨時総会 次年度代表幹事を囲む会

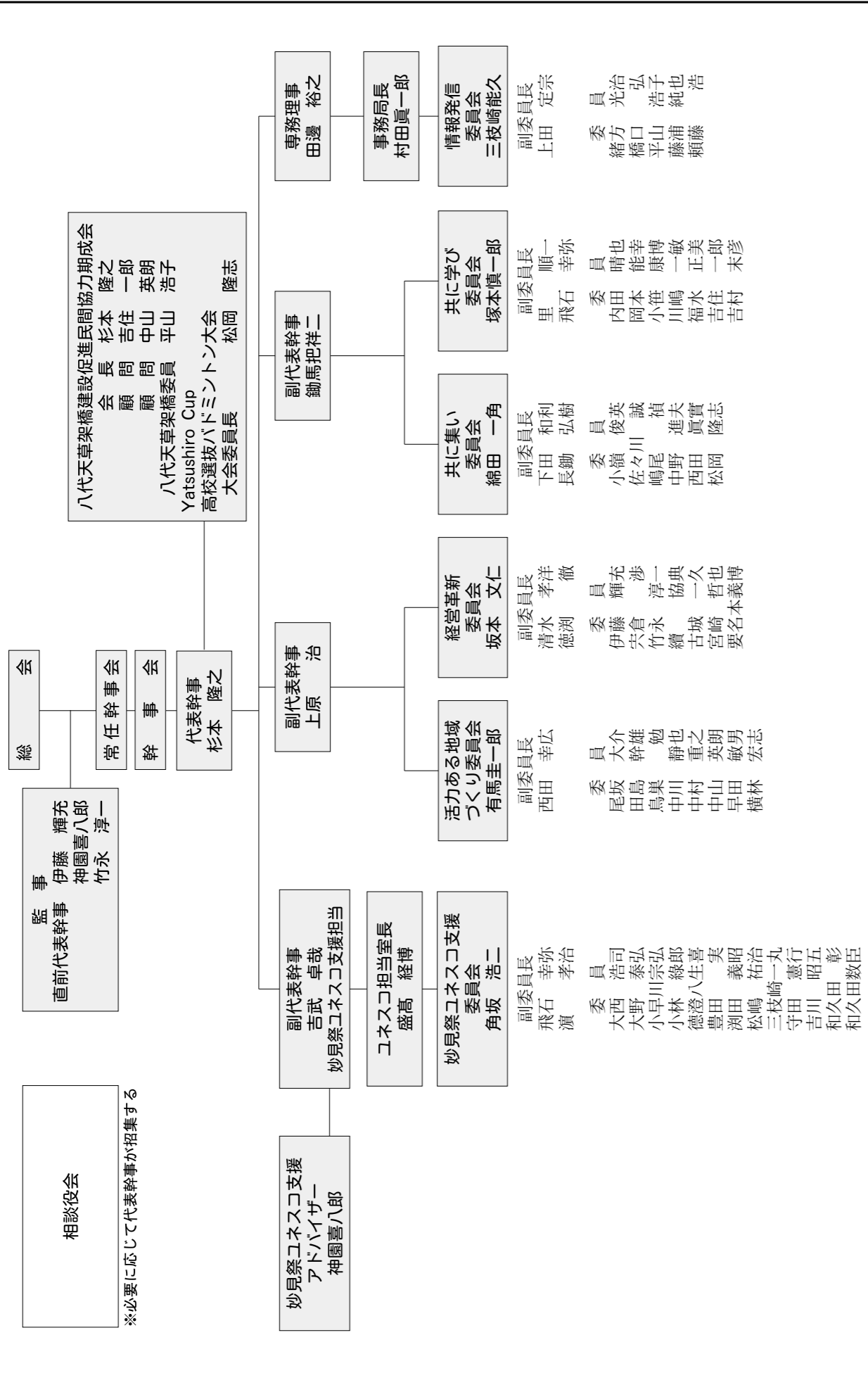
11月26日(木)セレクトロイヤル八代にて、19:00～臨時総会、20:10～次年度代表幹事を囲む会が行われました。

11月臨時総会は杉本次年度代表幹事の挨拶と共に、吉武副代表幹事によるユネスコ活動報告、竹永監事の臨時総会総括でしめられ、続く次年度代表幹事を囲む会は、なごやかな雰囲気の中、今後の同友会のさらなる飛躍を期待しながら、守田会員の挨拶でしめられました。





2016年度 八代経済開発同友会組織図



八代妙見祭 2016ユネスコ無形文化遺産登録へ

ユネスコ支援担当副代表 吉武卓哉

八代地域の企業経済人の集団として、「奉仕の志を持つものが、共に集い、学び合い、幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する。」を理念に掲げ、経済活動を中心とした地域開発の推進と、地場企業の振興を図ることを目的として運動展開をおこなっています。

特に、国の重要無形民俗文化財に指定されている「八代妙見祭」は、現在ユネスコ無形文化遺産代表一覧表への登録申請中であり、この動きを地域活性化及び交流人口の増大に繋げるため、2014年9月にユネスコ支援応援隊（八代市・熊本県南広域本部・八代商工会議所・八代市商工会・八代青年会議所・八代妙見祭保存振興会・よかところ宣伝隊・八代市市議会連盟・八代経済開発同友会の9団体）を結成し、八代妙見祭のユネスコ登録に関する認知度向上を図る活動に力を入れています。



そして、八代妙見祭を次世代に継承していくため、八代白百合学園高等学校写真部に依頼して、祭りの準備や当日の「町衆」の表情を「どや顔」として撮影し、先祖から代々受け継いできた祭りに対する「誇りと思い」を八代市民に再確認してもらうとともに、「町衆」の魅力を「妙見人」として県内・全国へ発信できる「第2回どや顔コンテスト」等、事業展開を行ってきました。

順調にいくと本年12月に登録決定を迎えるわけですが、本年度もユネスコ支援応援隊の各団体と連携を図りながら運動展開を行っていきたくと考えてます。（受賞作品はホームページにも掲載しております）

八代経済開発同友会 検索

観てみよう! 八代経済開発同友会ホームページ!!



いいね! を押して HPをのぞいてみよう! 参加してみよう! 八代経済開発同友会 facebook

# 同友会会員企業名

(71社)

氏名	会社名	会社電話番号	氏名	会社名	会社電話番号
有馬圭一郎	(有)まもるほけん	35-4593	中川 静也	学校法人 八商学園 中九州短期大学	33-5134
伊藤 輝充	(有)あたらし屋旅館	38-0213	中野 進夫	(株)八代角丸商店	37-1813
上田 定宗	有限会社 上田電気商会	32-5261	中村 重之	(有)ダイナックス	34-9277
上原 治	上原税理士事務所	33-2106	中山 英朗	(株)中山建設	33-5047
内田 晴也	(株)カーライフ (有)内田自動車工業	33-2355	長鋤 弘樹	(株)Passion	32-5509
大西 浩司	熊本中央信用金庫 八代支店	34-0211	西田 幸広	弁護士法人 Si-Law	62-8582
大野 泰弘	料亭 新歌扇	32-3800	西田 眞實	(有)にしだ	34-1534
緒方 光治	(資)緒方印刷所	32-3117	橋口 弘	(有)橋口商店	32-3055
岡本 能幸	太陽開発(株)	31-0558	濱 孝治	(資)浜商店・お茶の濱大松園	33-5163
尾坂 大介	松木運輸(株)	37-3145	早田 敏男	第一プロパン(株)	34-3583
小笹 康博	(株)小笹建設	32-7410	平山 浩子	(有)OFFICE メセナ	32-7123
川嶋 一敏	NTT西日本 八代支店	34-6000	福水 正美	東京海上日動火災保険(株)	35-3211
神園喜八郎	(有)神園交通	32-2121	藤浦 純也	株式会社 藤浦本店	32-2161
小早川宗弘	コム・スペース(株)	35-0888	淵田 義昭	(有)葵	32-4418
小林 緑郎	宗教法人 八代神社	32-5350	古城 一久	(株)藤永組	33-3167
小嶺 俊英	(株)エフ・イー・ティーシステム セレクトロイヤル八代	34-1111	松岡 隆志	(株)ゼロワン	31-1101
坂本 文仁	(株)坂本食糧	53-9211	松嶋 祐治	(株)松島建設	33-1941
佐々川 誠	(有)エンゼル	43-1110	三枝崎一丸	(有)なにわ	32-8145
里 順一	(株)フリーライフボックス	45-9868	三枝崎能久	(株)スタジオ カツミ	33-1618
穴倉 渉	穴倉渉税理士事務所	33-3521	宮崎 哲也	クギヤ印刷(株)	34-2031
嶋尾 禎	熊本銀行 八代支店	33-3521	村田眞一郎	有限会社 まこと商会	37-1371
清水 孝洋	大熊本証券(株) 八代支店	35-8484	守田 憲行	(株)出雲総業	33-0551
下田 和利	(有)下田青果生花部ぺんぎんや	34-2169	盛高 経博	盛高鍛冶刃物株式会社	32-4643
杉本 隆之	杉本園製茶(株)	32-3316	山口 敬司	(株)ファミリー総合保険	39-7595
鋤馬把祥二	熊日新聞西部販売(株)	34-5151	横林 宏志	(有)八代中央整備工場	34-7590
竹永 淳一	(株)通信館	33-9300	吉川 昭五	昭和工業(株)	33-4669
田島 幹雄	八代地域農業協同組合	35-3333	吉住 一郎	吉住酸素工業(株)	33-1105
田邊 裕之	資産総合鑑定	33-5411	吉武 卓哉	メディア(株)	33-4837
塚本慎一郎	(有)塚本建設	37-0201	吉村 末彦	看板のヨシムラ	37-1583
續 協典	(有)続プロパンガス商会	34-7473	要名本義博	八代ドライビングスクール	32-8135
角坂 浩二	角坂設備(株)	33-2038	頼藤 浩	(資)頼藤商店	33-1145
徳澄八生喜	(有)徳澄塗装	34-8535	和久田 彰	プラスワン美容室	33-0190
徳淵 徹	熊本第一信用金庫 八代支店	31-6211	和久田数臣	和久田建設(株)	32-5171
飛石 幸弥	八代グランドホテル	32-2111	綿田 一角	(株)八代美研	35-3785
鳥巢 勉	肥後銀行 八代支店	32-3171	続 保廣	(有)続プロパンガス商会	34-7473
豊田 実	(株)不知火建設	32-3384			